

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を提供する

毎月実施機会の多いケア項目(検査も含む)についてナーシングスキルを使用し学習を促した。ナーシングスキル活用件数は、1,278 件である。勉強会は、食事介助時のポジショニングについて他職種に依頼し実施した。患者役として実際のポジショニングを体験でき理解が深まった。また認知症加算やユマニチュード®についての勉強会も実施した。学習会前後での知識の確認テストでは正答率は 20%上昇した。NANDA-I の看護計画作成に取り組み、病棟での必須項目 18 項目を完成させた。次年度、修正しながら活用していく予定である。看護記録の質監査を毎月実施しており、個別性のある看護計画が立案、修正できるようになっている。

2) 病院経営に参画する

退院時共同指導料についての勉強会を MSW と共同で実施した。スタッフからは退院に向けての必要な援助が理解できたとの反応があった。入院時スクリーニング、初回面談表は改訂によって在宅での状況が具体的に聴取できるようになり、また MSW も一緒に面談することにより社会保障面からの情報の聞き取り方も充実してきた。定期カンファレンスに訪問看護師が参加することにより自宅での過ごし方や問題点などを明確化できた。退院時共同指導料 2 の算定要件はクリアできている。毎週火曜日のカンファレンス時に認知症ケア加算の監査を実施し、記録が不十分なところは指摘し、周知を繰り返し行った。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

転倒転落事例は 35 件、薬剤は 85 件(同事例も含む)である。レベル別では転倒による肋骨骨折の 3b 事例があった。その他薬剤のインシデント要因では、処方箋の指差呼称をすることで予防できた事例が多かったが、指差及び呼称の両方ができているスタッフはほとんどいなかった。新規褥瘡発生は 4 件、表皮剥離 31 件だった。入院患者へ保湿剤持参を依頼し塗布することで毎日の背部清拭が習慣化されており適切なケアができている。持ち込み褥瘡に対しても早めに皮膚科介入を促し適切な処置を行うことで改善した事例が大半であった。褥瘡対策マニュアルに沿った勉強会を実施した。適切なマットレスの使用や車イスでの除圧座布団の使用などを行い、褥瘡発生防止に努めた。

4) 専門職としての能力開発に努める

クリニカルラダーレベル I は 1 名、レベル III は 3 名、計画通りに研修に参加することができ、全員認定された。OJT としては、急変時対応の勉強会を行った。

5) 看護の先輩として学生に関わり、質の高い看護職を確保する

基礎 I 看護学実習及び成人老年看護学実習の実習指導計画書が作成できた。また実習初日のオリエンテーション内容の見直しを行った。

6) 活気ある職場、元気の出る職場づくりを推進する

年次休暇取得平均は 12.6 日であった。取得日数は個人で差が大きかった。業務改善について、スムーズな業務を目指し、処置台の物品配置の見直しを行った。QC 活動では、休憩時間未取得時間の解消をテーマに取り組んだ。リーダー会でスタッフの要望、不具合点などを毎月話し合うことができ対応策を検討しスタッフと共有した。休憩時間未取得時間がなくなるように残務表をスタッフ間の情報の共有のツールとして活用し、外来の応援体制を整えるために、スタッフ全員が外来業務を行

えるようにリーダー会を中心に活動を行い、全員が外来業務を経験できた。

2. 病床運営状況

表 1 令和 6 年度 病床運営状況

収容可能 病床数(床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数(人)	平均在院 日数(日)	病床 利用率(%)	病床 稼働率(%)
		新入院患者数(人)	退院患者数(人)				
30	内科・外科	15.6	15.7	18.4	32.9	61.2	61.3

有料個室		死亡者数 (人/年)	地域包括ケア病床 在宅復帰率(%)
病床数(床)	稼働率(%)		
8	61.0	21	90.8

3. 看護体制

表 2 令和 6 年度 看護体制(令和 6 年 4 月 1 日現在)

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
19	固定チームナーシング	2:2

4. 看護統計

1)重症度、医療・看護必要度

表 3 令和 6 年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度Ⅱ

基準を満たす 患者の割合(%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
		15.1	11.7	13.7	12.2	10.2	10.4	13.4	16.6	16.8	13.2	11.4	12.6

2)部署データ

表 4 令和 6 年度 認知症ケア加算算定対象者数

認知症ケア加算 1日平均患者数(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		5.83	4.03	7.20	5.26	5.06	5.53	4.48	4.5	6.58	9.3	8.46

表 5 入院患者延べ数と認知症ケア加算対象延べ患者数

